クラウド録画型 名札型ウェアラブルカメラ

アムニモポータブル

名札型アムニモポータブル AB12

取扱説明書



- このたびは名札型アムニモポータブル AB12（以下、本製品）をお使いいただき、ありがとうございます。本体を操作しながら本書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。お読みになった後も大切に保管してください。
- お使いになる前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書で使っている画面は、ソフトウェアのバージョンの違いなどにより、実際の製品と異なる場合があります。
- 本体のソフトウェアの更新により機能の追加・変更があった場合、本書の内容は予告なく変更することがあります。

2026年11月 第1版

© amnimo Inc.

目次

1 製品概要 4
本製品でできること 4
システム構成 4
本書の構成と見方 4

第1部　本体の操作

2 お使いになる前に 6
同梱品の確認 6
別売品・別に用意するもの 6
各部の名称と役割 6
LED ライトの表示 7
製品仕様 7

3 電源を入れる／切る 9
電源を入れる 9
電源を切る・再起動する 9

4 映像を録画する 10
ホーム画面の見方 10
録画を開始する 10
録画を中断する・再開する 11
録画を終了する 11
録画される映像について 11
録画データをクラウドに送る 11
充電中に自動で送る（自動アップロード） 13

5 名札を表示する 14
名札と利用者について 14
利用者を選ぶ 14
名札を表示する 14
名札を確認する（名札プレビュー） 15

6 取り付ける 16
マグネットクリップで取り付ける 16
取り付ける位置 16

7 SOS ボタン 17

8 本体を充電する 18
充電のしかた 18
充電についてのご注意 18

9 設定画面について 19
設定画面を開く 19
設定項目の一覧 19
ランチャー画面 19

10 ネットワークを設定する 20
設定の流れ 20
SIM カードを入れる 20
通信設定用の QR コードを作成する 21
初期設定画面で読み取る（無線 LAN） 21
ネットワーク設定で読み取る 22
接続を確認する 22
モバイル回線と無線 LAN の切り替え 22
登録した設定の確認・削除 23
動作確認済み SIM 23

11 その他の設定 24
自動電源 OFF 24
自動アップロード 24
画面の明るさ 24
デバイス情報・アプリの更新 24
ファームウェアの更新 24
ユーザーデータの消去 25

第2部　クラウドの操作（PC）

12 クラウドを使う前に 27
本体とクラウドの関係 27
ログインする 27
画面の見方 28

13 ライブ映像を見る 28

14 録画映像を再生する 29

15 本体の録画データを取り寄せる・削除する 30

16 映像を保存してダウンロードする 31

17 SOS イベントを確認する 31

18 名札の利用者を登録する 32

共通

19 安全上のご注意 33
表示の意味 33
本体・マグネットクリップの取り扱い 33
内蔵リチウムイオンバッテリー 33
使用環境 34
無線通信について 34
免責・適合規格 34

20 付録 35
故障かな？と思ったら 35
お問い合わせ 36

本書の読み方

お使いになる方	主に読む章
本製品を身に着ける方	本体 3 電源を入れる／切る、4 映像を録画する、5 名札を表示する、6 取り付ける、8 本体を充電する

© amnimo Inc.

お使いになる方	主に読む章
本製品を管理する方	上記に加えて 本体 2、9〜11（設定）と、 PC 第2部（12〜18）
すべての方	19 安全上のご注意、20 付録

© amnimo Inc.

1 製品概要

本製品でできること

本製品は、名札として胸元に着けて使うバッテリー駆動のネットワークカメラです。着けた人の視点で映像と音声を本体の SD カードに録画し、画面には利用者の名札を表示します。

- 録画中は、画面に名札を表示します。名札の内容はクラウドで作成し、本体に配信されます。
- 録画は本体の SD カード（約140時間分）に保存し、必要なときにクラウドへ送信します。
- モバイル回線（LTE）または無線 LAN でクラウドに接続し、サムネイル画像の定期送信や、PC からのライブ映像の確認ができます。
- SD カードに保存される録画データは暗号化されています。
- 重さは約77g（クリップを除く）。マグネットクリップで衣服に取り付けます。

⚠ 警告 本製品は日本国内専用です。



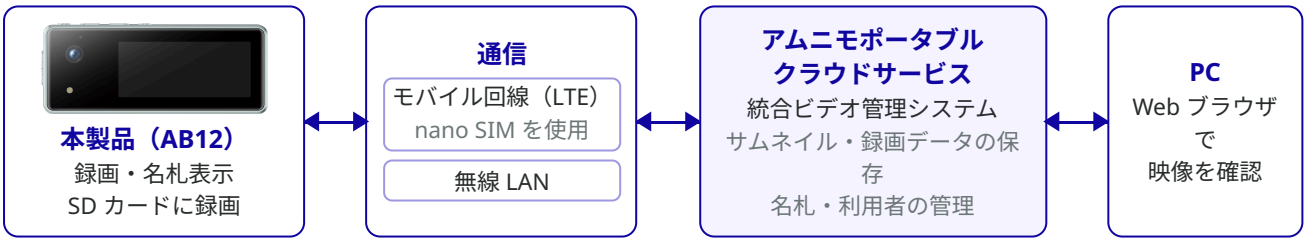
胸元に着けた例



画面に名札を表示した例

システム構成

本製品は、アムニモポータブルクラウドサービスの「統合ビデオ管理システム」と組み合わせて使います。



やりとりするもの	内容
サムネイル画像・ライブ映像	ネットワークにつながっている間、サムネイル画像が定期的にクラウドへ送られます。クラウドの画面から本体の映像をライブで再生でき、再生した映像はクラウドに自動的に保存されます。
録画データ	本体の SD カードに録画した映像を、本体の操作（p.11）またはクラウドからの要求で送信します。送信した録画データはクラウドに30日間保存されます。
利用者・名札	クラウドで登録した利用者と名札のデータが本体にダウンロードされます。

本書の構成と見方

本体 第1部 本体の操作
本体の画面やボタンで行う操作。ページの端の**青い帯**が目印です。

PC 第2部 クラウドの操作（PC）
PC の Web ブラウザで行う操作。ページの端の**ターコイズの帯**が目印です。

文中の **本体** **PC** は、その操作を行う場所です。[録画開始] は本体の画面のボタン、**電源ボタン** は本体のボタンです。クラウドのアカウントと本製品の登録は、ご契約先（アムニモまたは販売店）が行います。

© amnimo Inc.

第 1 部

本体の操作

本体（AB12）の画面やボタンで行う操作です。電源の入れ方、録画、充電、ネットワークの設定などを説明します。

- 2　お使いになる前に
- 3　電源を入れる／切る
- 4　映像を録画する
- 5　名札を表示する
- 6　取り付ける
- 7　SOS ボタン
- 8　本体を充電する
- 9　設定画面について
- 10　ネットワークを設定する
- 11　その他の設定

このページから「本体の操作」の章は、ページ右上と右端の**青い帯**が目印です。

© amnimo Inc.

2 お使いになる前に

本体

同梱品の確認

箱の中に次のものがそろっているか確認してください。

品名	数量	説明
本体（AB12）	1	SD カード（32GB）は本体に内蔵されています。
お使いになる前に	1	安全上の注意などを記載した冊子です。
マグネットクリップ	1	本体を衣服に取り付けるクリップです。
USB 電源アダプタ	1	充電用の電源アダプタです。
USB ケーブル	1	充電用のケーブルです（USB Type-A — USB Type-C）。

別売品・別に用意するもの

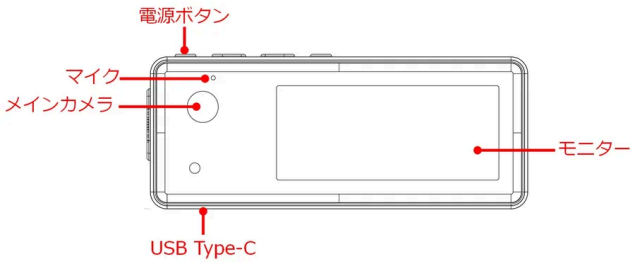
本製品には別売品（当社販売のアクセサリー）はありません。お使いになる環境に応じて、次のものを用意してください。

用意するもの	必要になるとき
nano SIM カードと通信契約	モバイル回線で使うとき。SIM カードは同梱されていません。通信事業者と別途ご契約ください（動作確認済み SIM：p.23）。
無線 LAN の環境	無線 LAN で使うとき。接続先の SSID とパスワードが必要です。
PC（Web ブラウザ）	通信設定用の QR コードを作成するとき、クラウドで映像を確認するとき。
クラウドのアカウント	ご契約先（アムニモまたは販売店）から提供されます。

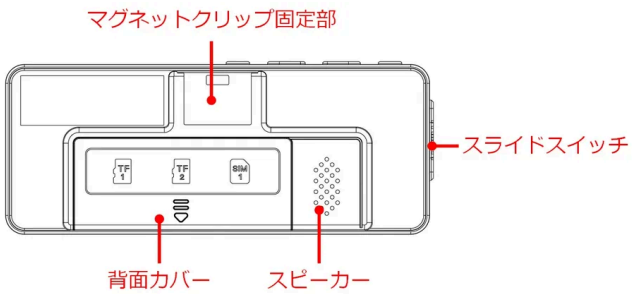
各部の名称と役割



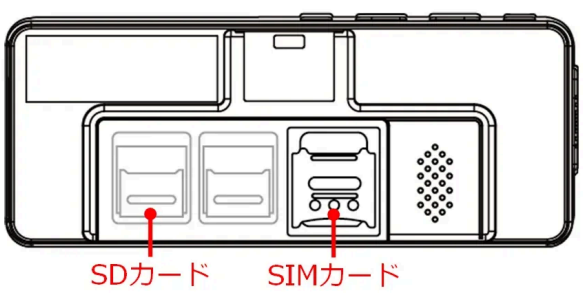
前面（写真）



前面

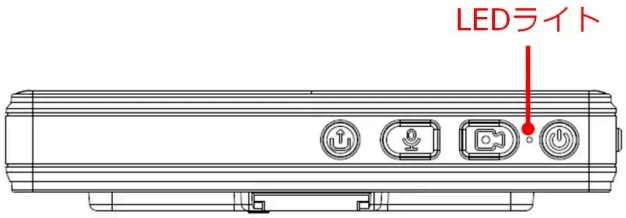


背面



背面カバーを外したところ

© amnimo Inc.



上面

場所	名称	役割
前面	モニター	タッチ操作の画面（2.3インチ）。利用者の選択、名札の表示、設定を行います。
	メインカメラ	映像を撮影します。QR コードの読み取りにも使います。
	マイク	音声を録音します。
	USB Type-C（下面）	充電用のケーブルをつなぎます。
上面	電源ボタン	電源を入れる・切る、再起動に使います（p.9）。
	LED ライト	電源ボタンの左隣にあります。録画中は赤く点灯します（p.7）。
	SOS ボタン	録画中に押すと、クラウドにイベントを通知します（p.17）。
	その他のボタン	使用しません。
背面	スライドスイッチ	前面から見て左側面にあります。上げるとメインカメラのシャッターが開きます。
	マグネットクリップ固定部	マグネットクリップを取り付けます。
	背面カバー	下へスライドして外すと、SD カードと SIM カードのスロットがあります。
	スピーカー	通知音などが鳴ります。
背面カバーの中	SIM カードスロット	右のスロット。nano SIM を入れます（p.20）。
	SD カードスロット	左と真ん中のスロット。内蔵の SD カードが入っています。**開けないでください。**

LED ライトの表示

LED ライトは上面の電源ボタンの左隣にあります。

表示	本体の状態
赤く点灯	録画中
赤から紫に3回変わる	録画中に SOS ボタンを押した

製品仕様

製品名／型番	アムニモポータブルデバイス NP amnimo B シリーズ／AB12	
処理・記憶	CPU／RAM／ROM	ARM コア 2.0GHz（8コア）／2GB／16GB
	内蔵 SD カード	32GB（約140時間分の録画）
画面	2.3インチ IPS 全視野角 高輝度 静電容量式タッチディスプレイ	
カメラ	撮像素子	1/3インチ CMOS センサー（有効画素数 最大400万画素）
	レンズ画角	水平 90°、垂直 74°、対角 47°
	手ブレ補正	なし
録画	解像度 640×480、5fps、H.264、映像 128kbps・音声 64kbps（撮影内容により変動）	
マイク	モノラル	

© amnimo Inc.

モバイル回線	LTE Cat 4（FDD：B1、B3、B8、B18、B19、B21／TDD：B41）、nano SIM×1	
無線 LAN	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac（ステーションモード）、内蔵アンテナ
	周波数	2.4GHz：1〜13ch（2412〜2472MHz） 5GHz：W52 36/38/40/42/46/48ch（5180〜5210MHz）、W53 52/54/60/62/64ch（5260〜5290MHz） ※W52・W53 は屋内使用限定です。
インターフェース	USB Type-C（通信および充電用）	
スイッチ	電源ボタン（PUSH）、カメラのシャッター用スライドスイッチ	
LED	3色 LED	
バッテリー	種類・容量	リチウムイオンバッテリー（内蔵）1850mAh
	充電時間／動作時間	約2〜3時間／最大7時間（常時録画時。動作環境により変わります）
外形寸法・重量	横 90mm × 縦 36mm × 厚み 18mm、約77g（クリップを除く）	
防塵・防水	IP20	
使用環境	動作温度 -10〜40℃（充電時 0〜40℃）、保存温度 0〜30℃、相対湿度 10〜90%	

仕様は予告なく変更することがあります。

© amnimo Inc.

3 電源を入れる／切る

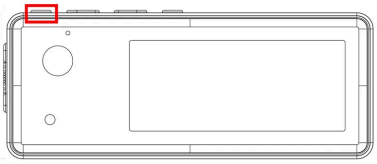
本体

電源を入れる

1 **上面の 電源ボタン を約3秒長押しします。**

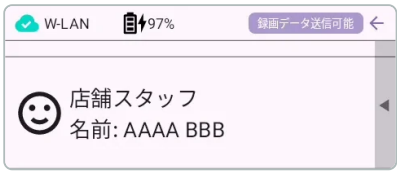
起動中の画面がしばらく表示されます。

電源ボタン



2 **起動が完了すると、ホーム画面（利用者選択画面）が表示されます。**

無線 LAN を設定していない本体では、先に「初期設定」画面が表示されます（p.21）。



補足 電源を入れただけでは録画は始まりません。録画のしかたは p.10 をご覧ください。

⚠ 注意 起動したあとに電源ボタンをもう一度長押しすると、電源メニューが表示されます。電源を入れるときは、長押しして離したら、起動を待ってください。

⚠ 警告 起動時に「初期化エラー ○秒後に再起動します」と表示されて再起動を繰り返す、または「SD カードがマウントできませんでした」と表示される場合は、SD カードの読み込みに失敗した可能性があります。「故障かな？と思ったら」（p.35）をご覧ください。

電源を切る・再起動する

1 **電源が入っているときに、上面の 電源ボタン を長押しします。**

電源メニューが表示されます。

2 **電源を切る または 再起動 をタップします。**

電源が切れる、または再起動します。



電源メニュー

⚠ 注意

- 録画データの送信中、ファームウェアの更新中は電源を切らないでください。
- 一定の時間操作がないと、電源が自動的に切れます（自動電源 OFF：p.24）。

© amnimo Inc.

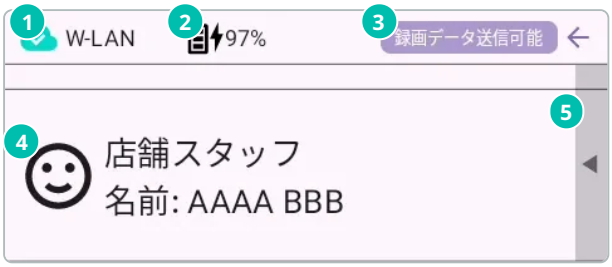
4 映像を録画する

本体

電源を入れたら、利用者を選んで録画を開始し、本体を胸元に取り付けます。取り付けてからでは画面を操作しにくいため、録画を開始してから取り付けてください。

ホーム画面の見方

電源を入れると表示される画面です。「利用者選択画面」ともいいます。

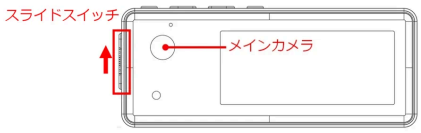


番号	表示	意味
1	**ネットワークの種類**	接続しているネットワークを表示します。**LTE**＝モバイル回線、**W-LAN**＝無線 LAN。
2	**バッテリー残量**	残量（%）と3段階のアイコンで表示します。充電中は稲妻マークが付きます。
3	**録画データ送信可能**	クラウドに送信できる録画データがあるときに表示されます（無線 LAN に接続しているときだけ）。タップすると送信できます（p.11）。送信できる録画データがないときは「利用者を長押しで録画」と表示されます。
4	**利用者**	選ばれている利用者のラベルと名前です。上下にスワイプして切り替え、長押しで録画のメニューを表示します。
5	**◀（右端のタブ）**	タップすると 録画データ送信 と 設定 が表示されます。

録画を開始する

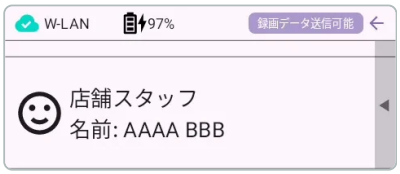
1 **スライドスイッチを上げて、カメラのシャッターを開けます。**

スライドスイッチは、前面から見て左側面にあります。



2 **ホーム画面を上下にスワイプして、自分の名前を表示します。**

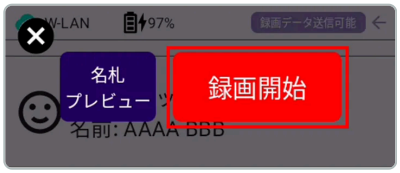
利用者を選びます（p.14）。



3 **名前の部分を長押しします。**

4 **録画開始 をタップします。**

名札プレビュー は名札の確認だけで、録画されません。



5 **名札の画面に変わり、録画が始まります。**

録画中は、上面の LED ライトが赤く点灯します。



名札の画面（録画中）

© amnimo Inc.

⚠ 注意

- 電源を入れただけでは録画されません。必ず 録画開始 をタップしてください。
- ネットワークの切替設定が［録画時 LTE］（お買い上げ時の設定）の場合、録画中はモバイル回線を使います。APN を設定していない、またはモバイル回線が使えない場所で録画を開始すると、本体はオフラインになります（p.22）。
- 充電中は録画しないでください。

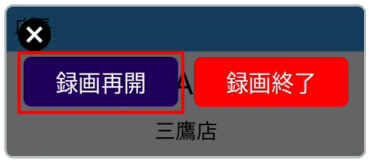
録画を中断する・再開する

休憩のときなど、録画を一時的に止めるときに使います。

1. **名札の画面を長押しし、録画中断 をタップします。**
   「録画停止中」と表示され、録画が止まります。

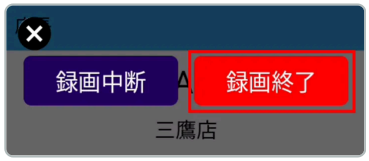


2. **再開するときは、「録画停止中」の画面を長押しし、録画再開 をタップします。**
   名札の画面に戻り、録画が再開します。



録画を終了する

1. **名札の画面を長押しし、録画終了 をタップします。**
   録画が終わり、ホーム画面に戻ります。名札の表示も終わります。



録画される映像について

- 映像と音声は本体の SD カードに保存されます。容量の上限（約140時間分）に達すると、古い映像から順に新しい映像で上書きされます。
- ネットワークにつながっていると、録画中に次のことができます。
  - 定期的に送られるサムネイル画像を、クラウドで見る
  - クラウドでライブ映像を再生する（再生した映像はクラウドに自動的に保存されます）（PC p.28）
- 録画の映像は、クラウドに送信するまでクラウドでは再生できません。次の「録画データをクラウドに送る」の操作で送信してください。

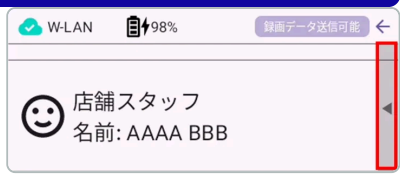
録画データをクラウドに送る

本体の SD カードに録画した映像を、クラウド（統合ビデオ管理システム）に送信します。送信した録画データは、送信した時点から30日間クラウドに保存され、クラウドで再生できます。

© amnimo Inc.

1 **ホーム画面の右端の ◀ をタップします。**

画面上部の 録画データ送信可能 をタップしても同じです。

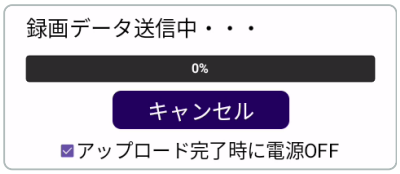


2 **録画データ送信 をタップします。**



3 **「録画データ送信中」の画面が表示され、送信が始まります。**

進み具合が % で表示されます。送信をやめるときは キャンセル をタップします。



4 **送信が終わると、電源が自動的に切れます。**

「アップロード完了時に電源OFF」のチェック（お買い上げ時はオン）を外して送信した場合や、電源を切る確認の画面でキャンセルした場合は、ホーム画面に戻ります。

⚠ 注意

- 送信が終わるまで、電源を切らないでください。
- 送信した録画データはクラウドに移り、本体の SD カードからはなくなります。

補足

- 送信はモバイル回線でも無線 LAN でもできますが、データ量が多いため無線 LAN をおすすめします。
  録画データ送信可能 の表示は無線 LAN に接続しているときだけ出ます。
- 送信を途中で止めた、または通信が途切れた場合は、もう一度送信すると残りの録画データが送信されます。
- クラウドの画面から、区間を指定して本体に送信を要求することもできます（PC p.30）。

© amnimo Inc.

充電中に自動で送る（自動アップロード）

自動アップロードを ON にしておくと、無線 LAN に接続して充電しているときに、録画データが自動的にクラウドへ送信されます。お買い上げ時は OFF です（設定：p.24）。

■ 自動で送信が始まる条件（すべて満たすとき）

- 自動アップロードが ON になっている
- 無線 LAN に接続している
- 充電している
- ホーム画面を表示している（設定画面などを表示している間は始まりません）
- 送信できる録画データがある
- 録画中・送信中ではない

■ 送信の流れ

1. 「10秒後に録画データアップロードが開始されます。」と表示され、10秒のカウントダウンが始まります。取りやめるときはキャンセルします。この間に無線 LAN が切れたり充電ケーブルを外したりすると、取りやめになります。
2. 送信が始まり、進み具合（0〜100%）が表示されます。 キャンセル で中止できます。無線 LAN が切れたり充電ケーブルを外したりすると、中断します。
3. 送信が終わると、電源を切る60秒のカウントダウンが始まります。キャンセルすると電源は切れません。送信画面の「アップロード完了時に電源OFF」のチェックを外しておくと、電源は切れません。

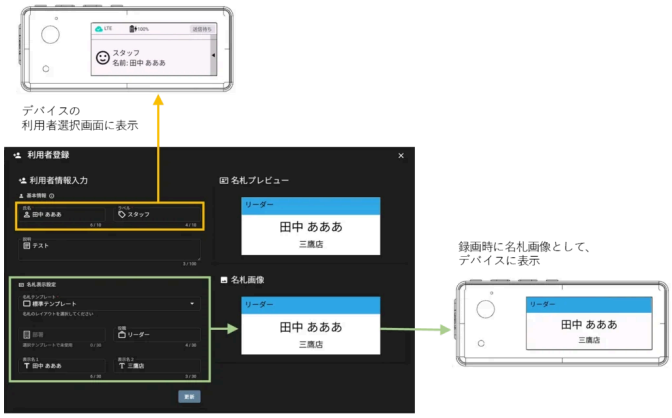
© amnimo Inc.

5 名札を表示する

本体

名札と利用者について

本製品には、クラウド（統合ビデオ管理システム）で登録した利用者の情報と名札のデータがダウンロードされます。本体では、この情報を使って利用者を選び、録画中に名札を表示します。



クラウドで登録した利用者の情報が、本体の利用者選択画面と名札の画面に表示される

本体の画面	表示される内容
利用者選択画面	クラウドで登録した利用者の「ラベル」と「氏名」
名札の画面	クラウドで設定した名札（部署、役職、表示名など。表示される項目は名札のテンプレートにより異なります）

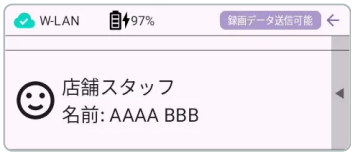
補足

- 利用者と名札の登録・変更はクラウドで行います。利用者は最大50人まで登録できます。登録の方法は（PC p.32）をご覧ください。
- クラウドで追加・変更した内容を本体に反映するには、本体がネットワークに接続している必要があります。
- 利用者を登録していないと、利用者選択画面には「社員」「名前: user」と表示されます。

利用者を選ぶ

利用者が複数登録されている場合は、本体を使う人を選びます。選んだ利用者の名札が、録画中に表示されます。

1. **ホーム画面（利用者選択画面）を上下にスワイプします。**
   自分の名前が表示されたら、利用者の切り替えは完了です。



名札を表示する

名札は、録画中に表示されます。録画を開始すると名札の画面に変わり、録画を終了するとホーム画面に戻ります。

© amnimo Inc.

■ 表示する（録画開始）

名前を長押し → 録画開始 （p.10）

■ 表示を終える（録画終了）

名札の画面を長押し → 録画終了 （p.11）

録画を中断している間は、名札の上に「録画停止中」と表示されます。



名札の画面（例：役職・名前・所属）

名札を確認する（名札プレビュー）

録画をせずに、名札の表示を確認できます。

1. **ホーム画面で名前の部分を長押しします。**
2. **名札プレビュー をタップします。**
   名札のプレビュー画面が表示されます。この間は録画されません。
3. **終えるときは、画面右上の プレビュー終了 をタップします。**

© amnimo Inc.

6 取り付ける

本体

警告 マグネットクリップは非常に強い磁力をもっています。ペースメーカーや植込み型除細動器などの医療機器をお使いの方は、マグネットクリップを胸部付近に着けないでください。磁力が医療機器に影響し、誤作動の原因になるおそれがあります。

注意 マグネットクリップを、クレジットカードや交通系 IC カードなどの磁気記録媒体に近づけないでください。磁力で壊れるおそれがあります。

マグネットクリップで取り付ける

1. **電源を入れ、録画を開始します。**
   取り付けてからでは画面を操作しにくいため、先に録画を開始してください（p.10）。
2. **本体背面のマグネットクリップ固定部にマグネットクリップを取り付け、衣服の胸元に固定します。**
3. **レンズが正面を向き、本体が水平になっていることを確認します。**
   カメラの向きは、クラウドのライブ映像でも確認できます（PC p.28）。



胸元に着けた例

取り付ける位置

レンズ面が正面・水平になる位置に、しっかり固定してください。

おすすめの位置	避ける位置
• 胸元（本体を水平にする） • ネックストラップ • ジャケットの胸元（レンズが隠れない位置）	• 胸ポケットなど、生地が傾いてレンズが下を向く位置 • ポケットの端など、重みで前に倒れる位置 • 薄い生地・柔らかい生地（夏服など）

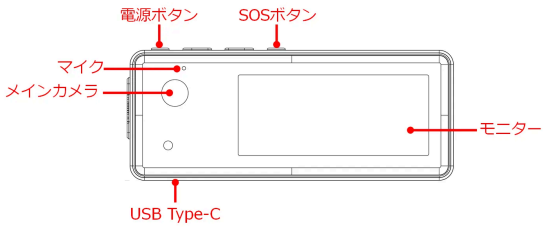
補足 レンズは汚れないようにしてください。汚れていると映像がぼやけます。

© amnimo Inc.

7 SOS ボタン

本体

録画中に上面の SOS ボタンを押すと、クラウド（統合ビデオ管理システム）にイベントが通知されます。LED ライトが赤から紫に3回変わったあと、押した時点の前後10秒間の映像（MP4 形式）がクラウドに送信されます。



SOS ボタンの位置

■ SOS ボタンを使うための条件

- 録画中であること
- SOS ボタン設定が ON になっていること（下の手順）

SOS ボタン設定を ON にする

1. **利用者選択画面の ◀ をタップします。**
2. **設定 をタップします。**
3. **動作設定 をタップします。**
4. **SOS ボタン をタップします。**
5. **ON をタップします。**

補足 統合ビデオ管理システムの CLOUD モードで LIVE 映像を見ている間は、SOS ボタンを押しても映像は送られず、イベントだけが通知されます。

⚠ 注意 無線通信は、すべての状況で接続できるとは限りません。緊急時の通報を本製品だけに頼らないでください。

通知されたイベントは、クラウドで確認します（PC p.31）。

© amnimo Inc.

8 本体を充電する

本体

本製品はリチウムイオンバッテリーを内蔵しています。同梱の USB 電源アダプタと USB ケーブルで充電します。

充電のしかた

1. **USB ケーブルの Type-C 側を、本体下面の USB Type-C 端子につなぎます。**
2. **USB ケーブルのもう一方を USB 電源アダプタにつなぎ、電源アダプタをコンセントに差し込みます。**
   充電中は、ホーム画面のバッテリー残量に稲妻マークが表示されます。
3. **充電が終わったら、ケーブルを外します。**
   充電時間の目安は約2〜3時間です。

充電時間	約2〜3時間
動作時間	最大7時間（常時録画時。動作環境により変わります）
充電できる温度	0〜40℃

充電についてのご注意

⚠ 注意

- 必ず同梱の USB 電源アダプタと USB ケーブルを使ってください。
- 充電中は録画しないでください。充電中は電源を切っておくことをおすすめします。
- 充電は風通しのよい場所で行ってください。高温多湿の場所や直射日光の当たる場所では充電しないでください。
- 充電中は本製品のそばを離れないでください。長時間の放置充電は避けてください。
- 充電中や使用中に異常な発熱・変形・液漏れ・異臭があるときは、すぐに使用をやめてください。

補足

- 自動電源 OFF（p.24）は、充電中も働きます。
- 自動アップロードを ON にしていると、無線 LAN に接続して充電している間に録画データが送信されます（p.13）。
- 長期間使わないときは、40〜60% 程度まで充電して保管し、ときどき充電してください。

© amnimo Inc.

9 設定画面について

本体

設定画面を開く

1 **ホーム画面の右端の ◀ をタップします。**



2 **設定 をタップします。**

右側のボタンです。設定画面が表示されます。



本書では、この操作を「◀ › 設定」のように書きます。

設定項目の一覧

設定画面の項目	その中の項目	内容	ページ
ネットワーク設定	設定を追加	通信設定用の QR コードを読み取り、無線 LAN・APN を登録します。	22
	APN 一覧／無線 LAN 一覧	登録した設定を確認・削除します。	23
	切替設定	モバイル回線と無線 LAN の使い分けを選びます。	22
動作設定	自動電源 OFF	操作がないときに電源を切るまでの時間を選びます。	24
	自動アップロード	充電中の自動送信の ON／OFF を選びます。	24
画面設定	画面の明るさ	画面の明るさを調整します。	24
デバイス情報	アプリアップデート	本体のアプリを更新します。	24
	ファームウェアアップデート	本体のファームウェアを更新します。	24
	データ消去	ユーザーデータを消去し、本体を出荷時の状態に戻します。	25

ランチャー画面

画面の左端から右へスワイプし、表示された ▲ をタップすると、ランチャー画面が表示されます。

© amnimo Inc.

10 ネットワークを設定する

本体

本製品は、モバイル回線（nano SIM）または無線 LAN、あるいはその両方でクラウドに接続します。ネットワークの設定は、PC で作成した通信設定用の QR コードを、本体のカメラで読み取って行います。

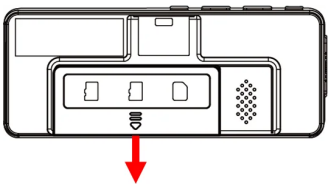
設定の流れ

手順	無線 LAN のみ	モバイル回線のみ	両方を使用
SIM カードを入れる（p.20）	—	○	○
① 電源を入れる（p.9）	○	○	○
② QR コードを作成する（PC）（p.21）	無線 LAN 用	モバイル回線用	両方を作成
③ 本体のカメラで読み取る	初期設定画面で（p.21）	ネットワーク設定で（p.22）	無線 LAN 用は初期設定画面、モバイル回線用はネットワーク設定で
④ 接続を確認する（p.22）	W-LAN	LTE	W-LAN または LTE
切替設定（p.22）	［無線 LAN 優先］に変更	そのままでよい	使い方に合わせて選ぶ

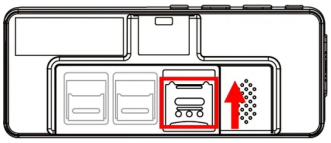
補足 初期設定画面では、いまは無線 LAN だけを設定できます。モバイル回線（APN）は、初期設定のあとにネットワーク設定から登録します。

SIM カードを入れる

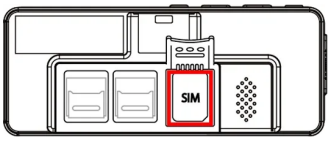
モバイル回線を使うときだけ行います。**SIM カードは、必ず電源を切った状態で入れてください**（p.9）。



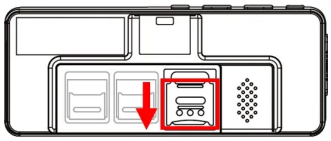
1. 背面カバーを下へスライドして外す



2. 右のスロットカバーを上へスライドしてロックを外し、開ける



3. nano SIM を、切り欠きが右下になる向きで入れる



4. スロットカバーを閉め、下へスライドしてロックする

5 **背面カバーを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。**

⚠ 警告

- スロットカバーは壊れやすいため、ていねいに扱ってください。
- スロットカバーでけがをしないように注意してください。
- 左と真ん中のスロットカバー（SD カード）は開けないでください。

© amnimo Inc.

通信設定用の QR コードを作成する

PC の Web ブラウザで、次の通信設定用 QR コード生成サイトを開きます。

https://apps.amnimo.com/video/amp/qrcode/index.html

■ 無線 LAN 用

1. **通信タイプで 無線 LAN を選びます。**
2. **次の項目を入力します。**
   - SSID
   - 優先度
   - パスワード
   - 暗号化タイプ（WPA3 または WPA2。無線 LAN が WPA3 に対応していれば WPA3 をおすすめします）
3. **QR コード生成 をクリックします。**

   無線 LAN 用の QR コードが表示されます。

■ モバイル回線用（APN）

1. **通信タイプで SIM（APN設定） を選びます。**
2. **SIM を選択 をクリックし、お使いの SIM を選びます。**

   例：「DIS mobile」の ミソラコネクト

   選んだ SIM に合った QR コードが表示されます。

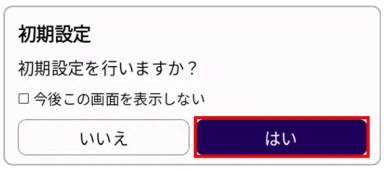
一覧にない SIM その他のSIMを利用する場合 をクリックし、表示名・APN・ユーザー名・パスワード・MCC・MNC を入力して QR コード生成 をクリックします。値は通信事業者の資料をご覧ください。

補足 無線 LAN とモバイル回線を併用する場合は、それぞれの設定用 QR コードを作成し、本体でそれぞれ読み取ってください。

初期設定画面で読み取る（無線 LAN）

無線 LAN を設定していない本体の電源を入れると、「初期設定」画面が表示されます。

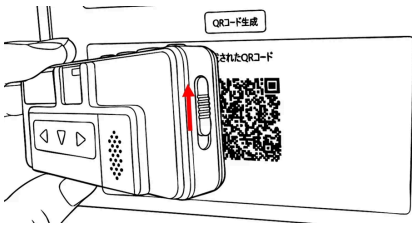
1. **はい をタップします。**



2. **無線 LAN 設定の案内画面で、スキャン をタップします。**

   スキップ をタップすると、無線 LAN を設定せずに初期設定が終わります。
3. **スライドスイッチを上げてシャッターを開け、本体のカメラに無線 LAN 用の QR コードをかざします。**

   読み取ると通知音が鳴ります。

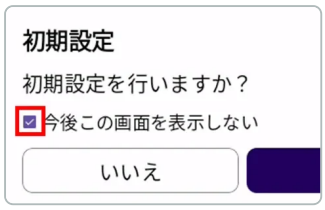


4. **内容を設定に追加 をタップし、OK をタップします。**
5. **「ネットワーク設定が完了しました」と表示されたら、OK をタップします。**

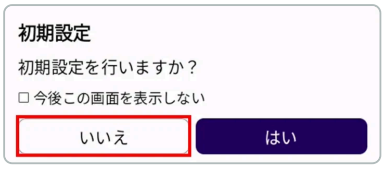
   初期設定が終わり、ホーム画面が表示されます。

© amnimo Inc.

無線 LAN を使わないとき モバイル回線だけで使う場合は、「今後この画面を表示しない」にチェックを入れて いいえ をタップします。チェックしないと、起動のたびに初期設定画面が表示されます。無線 LAN は、あとからネットワーク設定でも登録できます。



チェックを入れて



［いいえ］

ネットワーク設定で読み取る

モバイル回線（APN）を登録するとき、または初期設定のあとで無線 LAN を登録するときに行います。

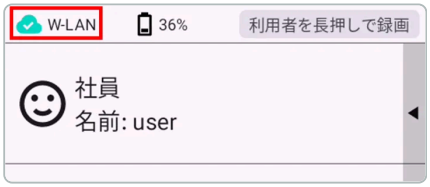
1. ◀ › **設定** › **ネットワーク設定** › **設定を追加** › **QR コード読取** **の順にタップします。**
2. **スライドスイッチを上げてシャッターを開け、本体のカメラに QR コードをかざします。**
   読み取ると通知音が鳴ります。
3. **内容を設定に追加** **をタップし、** **OK** **をタップします。**
   ネットワークの設定が完了します。

補足 SIM によっては、APN を設定したあとに再起動が必要な場合があります。正しい APN を設定してもモバイル回線で通信できないときは、本体を再起動してください（p.9）。

接続を確認する

ホーム画面の左上に、接続しているネットワークが表示されます。**W-LAN**（無線 LAN）または **LTE**（モバイル回線）が表示されれば、設定は完了です。

LTE が表示されないときは、本体を再起動してください。



モバイル回線と無線 LAN の切り替え

どちらの回線を優先して使うかを、3つの動作モードから選びます。

1. ◀ › **設定** › **ネットワーク設定** › **切替設定** **の順にタップします。**
2. **動作モードを選んでタップします。**

© amnimo Inc.

動作モード	動き	向いている使い方
無線 LAN 優先	無線 LAN が使えるときは無線 LAN を使います。	無線 LAN だけで使う
録画時 LTE （お買い上げ時）	録画中は常にモバイル回線を使い、それ以外のときは無線 LAN を優先します。	録画中は外で使い、戻ったら無線 LAN で送信する
無線 LAN OFF	無線 LAN を使わず、常にモバイル回線を使います。	モバイル回線だけで使う

⚠ 注意 ［録画時 LTE］のまま、APN を設定していない本体やモバイル回線が使えない場所で録画を開始すると、本体はオフラインになります。無線 LAN だけで使う場合は［無線 LAN 優先］を選んでください。

登録した設定の確認・削除

1. ◀ › **設定** › **ネットワーク設定** の順にタップし、**APN 一覧** または **無線 LAN 一覧** をタップします。
   登録した設定の一覧が表示されます。
2. 削除するときは、削除する設定の行の ⋮ をタップし、**削除** をタップします。
3. **はい** をタップし、削除されたら **OK** をタップします。

補足 無線 LAN 一覧に表示される「AMP-WLAN-RESERVED」は、システムの都合で表示されているものです。無線 LAN としては使えません。

動作確認済み SIM

次の SIM で動作を確認しています。QR コードの作成時は、SIM を選択 から選びます。

通信事業者	SIM（プラン）	APN
DIS	M-Air（ミソラコネクト）	mmtcom.jp
Soracom	Plan-k	soracom.io
Soracom	Plan-du	du.soracom.io
IIJ	カメラプラン 固定グローバル IP	iijmobile.biz
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ I	iijmobile.biz
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ K	k.iijmobile.jp
IIJ	IIJ モバイルサービス／タイプ D	iijmobile.jp
Biglobe	タイプ D（NTT ドコモ）	biglobe.jp
HIS mobile	ドコモ回線プラン	dm.jplat.net
HIS mobile	ソフトバンク回線プラン	sb.mvno
MEEQ	MEEQ SIM インターネット接続（au／softbank／docomo）、グローバル SIM	meeq.io

© amnimo Inc.

11 その他の設定

本体

自動電源 OFF

無駄な電力消費を防ぐため、録画・録画データの送信・アプリの更新のいずれも行われない状態が一定時間続くと、電源が自動的に切れます。充電中も同じように働きます。

1. ◀ › 設定 › 動作設定 › 自動電源 OFF の順にタップします。
2. **電源が切れるまでの時間を選んでタップします。**
   OFF（自動電源 OFF を使わない）／10分／30分（お買い上げ時）／1時間

自動アップロード

無線 LAN に接続して充電しているときに、録画データを自動的にクラウドへ送信します。動きは p.13 をご覧ください。

1. ◀ › 設定 › 動作設定 › 自動アップロード の順にタップします。
2. **ON または OFF を選んでタップします。**
   お買い上げ時は OFF です。

画面の明るさ

屋外で見やすくする、暗い場所でまぶしさを抑えるなど、使う場所に合わせて画面の明るさを調整します。

1. ◀ › 設定 › 画面設定 › 画面の明るさ の順にタップします。
2. **スライダーを左右にドラッグします。**
   動かすと、すぐに画面の明るさが変わります。

デバイス情報・アプリの更新

1. ◀ › 設定 › デバイス情報 の順にタップします。
   「デバイス情報」画面が表示されます。
2. アプリを更新するときは、アプリアップデート をタップします。
   - 更新がある場合：はい をタップするとダウンロードが始まります。続けて はい をタップすると更新が始まります。終わったら OK をタップします。
   - 更新がない場合：OK をタップします。

ファームウェアの更新

新しいファームウェアが公開されると、ネットワーク経由でダウンロードして更新できます。

© amnimo Inc.

更新の前に

- 本体をネットワークに接続してください。データ量が大きい（約800MB）ため、無線 LAN をおすすめします。
- 充電ケーブルをつなぐか、バッテリー残量が70% 以上あることを確認してください。

1. **「デバイス情報」画面で ファームウェアアップデート をタップします。**
2. **はい をタップします。**
   ファームウェアのダウンロードが始まります。
3. **はい をタップします。**
   更新が始まります。終わると本体が自動的に再起動します。

⚠ 警告 更新中は本体の電源を切らないでください。ファームウェアが壊れるおそれがあります。

ユーザーデータの消去

お買い上げ後に追加したデータや設定をまとめて削除し、本体を初期状態に戻します。

削除されるデータ	録画データ、名札データ、APN 設定、無線 LAN 設定
初期値に戻る設定	自動電源 OFF、ネットワークの切替設定

⚠ 注意

- 録画データも削除されます。必要な録画データは、先にクラウドへ送信してください。
- APN 設定は、本体に入っている SIM の分だけが削除されます。SIM を入れたまま消去してください。

1. **◀ › 設定 › デバイス情報 の順にタップします。**
2. **「デバイス情報」画面を上にスワイプし、 データ消去 をタップします。**
3. **ユーザーデータ消去 をタップします。**
4. **確認の画面で 消去 を2回タップします。**
   消去が始まります。終わると本体が再起動します。

© amnimo Inc.

第 2 部

クラウドの操作（PC）

PC の Web ブラウザで、クラウド（統合ビデオ管理システム）にログインして行う操作です。録画した映像の確認、本体からの映像の取り寄せ、映像の保存などを説明します。

- 12　クラウドを使う前に
- 13　ライブ映像を見る
- 14　録画映像を再生する
- 15　本体の録画データを取り寄せる・削除する
- 16　映像を保存してダウンロードする
- 17　SOS イベントを確認する
- 18　名札の利用者を登録する

このページから「クラウドの操作」の章は、ページ右上と右端の**ターコイズの帯**が目印です。

© amnimo Inc.

12 クラウドを使う前に

PC

本体とクラウドの関係

本体で録画した映像は、まず本体の SD カードに保存されます。クラウドで映像を見るには、録画データをクラウドに送る必要があります。

映像の種類	クラウドで見られるようになるまで
ライブ映像	本体が通信しているときに、クラウドでその場の映像を見られます（p.28）。CLOUD モードで見た映像は、クラウドに保存されます。
録画データ	次のどれかでクラウドに送ると、再生できるようになります（p.29）。 • 本体 本体で送信する（p.11） • 本体 自動アップロードを ON にしておく（p.24） • PC クラウドから本体に送信を要求する（p.30）
サムネイル画像	本体から定期的に送られる静止画です。クラウドに30日間保存されます。

必要なもの

- PC（Windows 10 以降）と Google Chrome（最新版）
  スマートフォンやタブレットでのご利用はサポート対象外です。
- クラウドのユーザーアカウント（ご契約先から提供されます。事前に登録が必要です）

ログインする

1. **Web ブラウザで次の URL を開きます。**
   https://apps.amnimo.com/#/signin

2. **メールアドレスとパスワードを入力し、サインイン をクリックします。**
   サービス管理ポータルが表示されます。



3. **アプリケーションの 統合ビデオ管理システム をクリックします。**
   統合ビデオ管理システムの画面が開きます。



PC

画面の見方



カメラを選んだときの画面

左の一覧	カメラ（本体）の一覧です。本体は「AB12_000000」のような名前で表示されます。
CLOUD／DIRECT	ライブ映像の見かた（モード）の切り替えです（p.28）。
タイムライン	画面下の時間軸です。**黄色のバー**は、クラウドにある映像の時間帯です。
LIVE	右下のボタンです。ライブ映像を表示します。

補足 上部の「アムニモポータブル」メニュー（アムニモポータブル管理ページ）では、本体の状態（録画中か、オンラインか、バッテリー残量）や録画履歴を確認できます。名札の利用者もここで登録します。

13 ライブ映像を見る

PC

本体が録画中で、ネットワークに接続しているときに、その場の映像を音声付きで見られます。

CLOUD モードで見る

1. **左のカメラ一覧で、見たい本体をクリックします。**
2. **画面右下の LIVE をクリックします。**
   再生が始まるまで、進み具合を示すバーが表示されます。キャンセル で中止できます。



3. **見終わったら、映像の上にカーソルを移動し、表示された停止のボタンをクリックします。**

- CLOUD モードで見た映像は、クラウドに保存され、あとで再生できます（p.29）。
- 一定の時間が過ぎると、自動的に再生が止まります（時間は管理者が設定します）。
- LIVE 中に映像の上のカメラのアイコンをクリックすると、その場面を静止画（スナップショット）として保存できます。

DIRECT モードで見る

DIRECT モードは、クラウドを経由せず、本体に直接接続して見るモードです。本体のアプリ v3.7.0 以降で使えます。

1. **左のカメラ一覧で、見たい本体をクリックします。**
2. **画面上部の DIRECT タブをクリックします。**
   ライブ映像の再生が始まります。CLOUD モードに戻るときは CLOUD タブをクリックします。

© amnimo Inc.

	CLOUD モード	DIRECT モード
見た映像	クラウドに保存されます	保存されません
同時に見られる人	複数	1人だけ

補足 同じ本体を、CLOUD モードの LIVE と DIRECT モードで同時に見ることはできません。ほかの人が見ているときは「他のユーザーが利用中のため接続できませんでした」と表示されます。

補足 CLOUD モードでライブ映像を見ている間に本体の SOS ボタンが押されると、映像は送られず、イベントだけが通知されます。

14 録画映像を再生する

PC

クラウドに送った録画データと、CLOUD モードで見たライブ映像を再生できます。クラウドにある映像は、タイムラインに**黄色のバー**で表示されます。

補足 見たい時間に黄色のバーがないときは、映像がまだ本体にあります。先に本体から取り寄せてください（p.30）。



画面下のタイムラインの黄色のバーが、クラウドにある映像

タイムラインから再生する

1. **左のカメラー覧で、映像を見たい本体をクリックします。**
2. **タイムラインで、見たい時刻にカーソルを合わせて右クリックします。**
3. **この時刻から再生 をクリックします。**
   録画映像が再生されます。映像の音声も聞くことができます。

サムネイル画像をクリックし、映像の上に表示される［この時刻から再生］のボタンをクリックしても再生できます。

© amnimo Inc.

再生中の操作

一時停止	映像を一時停止します。
停止	再生を止め、サムネイルの表示に戻ります。
15秒戻る／15秒進む	15秒ずつ戻したり進めたりします。

15 本体の録画データを取り寄せる・削除する

PC

本体に残っていて、まだクラウドに送っていない録画データを、クラウドから時間を指定して取り寄せ（アップロード）たり、本体から削除したりできます。本体を操作する必要はありません。

録画履歴を見る

1. **画面上部の** アムニモポータブル **をクリックします。**
2. **アムニモポータブル デバイス一覧 タブを開きます。**
   利用者ごとに見るときは 利用者・利用状況 タブを開きます。

録画履歴は1日1本のバーで表示されます。バーの高さが録画時間を表します。

バーの色	意味
濃い青	アップロード済み（クラウドにある）
薄い青	未アップロード（本体にだけあり、クラウドにまだ送っていない）
オレンジ	リクエスト中（アップロードまたは削除を要求している）
グレー	削除済み（クラウドに送らずに本体から削除された）

バーにカーソルを合わせると、それぞれの合計時間が表示されます。本体がオフラインのあいだは、未アップロードの履歴は更新されません。

アップロード・削除を要求する

1. **対象の日のバーをクリックします。**
   「録画データ詳細」が表示されます。別の日は、左上の日付をクリックして選びます。
2. **アップロード または 削除 をクリックします。**
3. **タイムラインで、対象の区間をクリック（またはドラッグ）して選びます。**
   同じ日の区間なら、いくつでも選べます。一部の時間だけにするときは、時計のアイコンで開始・終了の日時を調整します。
4. **必要に応じて 無線 LAN 接続時のみアップロードする にチェックを入れます。**
   チェックすると、本体がモバイル回線のときはアップロードしません。

© amnimo Inc.

5 **リクエスト送信 をクリックします。**

対象の区間が「リクエスト中」（オレンジ）になります。本体が通信しているときに処理され、アップロードが終わると「アップロード済み」（濃い青）になり、タイムラインの黄色のバーで再生できます。

補足 リクエストは、対象のバーをクリックし、タイムライン上のリクエストをクリックして はい をクリックすると取り消せます。「キャンセル不可」と表示されたあとは取り消せません。

⚠ 注意 削除した録画データは元に戻せません。

16 映像を保存してダウンロードする PC

クラウドの映像は、送信から30日で削除されます。残したい映像は、ビデオクリップとして保存し、PC にダウンロードしてください。

ビデオクリップを保存する

1 **左のカメラー覧で本体をクリックし、ビデオクリップのアイコンをクリックします。**

2 **タイムラインで残したい時間帯を選びます。**

日時をクリックしてカレンダーから選ぶこともできます。黄色のバー（クラウドにある映像）の範囲を選んでください。1つのビデオクリップは最大60分です。

3 **名称を入力し、取得 をクリックします。**

取得が終わると、タイムラインのその時間帯が青く表示されます。

静止画（スナップショット）は、スナップショットのアイコンから同じように日時と名称を指定して保存できます。

PC にダウンロードする

1 **メニューから クラウド保存動画 / 画像 を開きます。**

2 **ダウンロードしたいビデオクリップまたはスナップショットの、右上のアイコンをクリックし、ダウンロード をクリックします。**

動画は mp4 形式、静止画は jpg 形式で PC に保存されます。

補足 ビデオクリップとスナップショットの保存領域は、カメラごとに用意されています（既定で 1GB）。いっぱいになると、古いものから自動的に上書きされます。

17 SOS イベントを確認する PC

本体の SOS ボタンが押されると（p.17）、統合ビデオ管理システムにイベントが通知されます。

- イベントが発生すると、画面にポップアップが表示され、ライブ映像とイベントクリップ（押した前後10秒の映像）が再生されます。ブラウザからブザー音が鳴ります。

© amnimo Inc.

- イベントの一覧では、イベントの検索、イベントクリップの再生、対応状況（ステータス）の変更、コメントの書き込みができます。イベントは90日たつと自動的に削除されます。
- メールで通知を受け取ることもできます（通知の設定は管理者が行います）。

補足 イベントの一覧などのイベント機能は、オプション機能です。ご利用についてはご契約先にお問い合わせください。

18 名札の利用者を登録する

PC

本体の利用者選択画面と名札の画面に表示する利用者の情報を、クラウドで登録します（最大50人）。登録した利用者は、テナントのすべての AB12 に表示されます。

情報	本体での表示
基本情報	ラベルと氏名が、利用者選択画面に表示されます。
名札表示設定	名札の画面に表示されます。表示される項目は、選んだ名札テンプレートによって変わります。

利用者を追加する

1. **画面上部の** アムニモポータブル **をクリックし、** 利用者・利用状況 **タブを開きます。**
2. ＋利用者を追加 **をクリックします。**
3. **次の項目を入力し、** 登録 **をクリックします。**
   - 基本情報：ラベル（必須）、氏名（必須）、説明
   - 名札表示設定：名札テンプレート（必須）、部署、役職、表示名1、表示名2

   名札の画像が作られます。
4. **右上の** × **で画面を閉じ、利用者一覧に追加されたことを確認します。**

- 編集するときは、利用者の右にある編集のアイコンをクリックし、変更して 更新 をクリックします。削除するときは、削除のアイコンをクリックして はい をクリックします。
- 本体 追加・変更した内容は、本体がネットワークに接続しているときに本体に反映されます （p.14）。

© amnimo Inc.

19 安全上のご注意

人体や本製品、本製品を含むシステムを守るため、本製品を取り扱うときは本書の安全に関する指示に従ってください。指示に反する取り扱いをされた場合、当社は安全性を保証できません。本製品を無断で改造しないでください。

表示の意味

⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うこと、または物的損害（※3）の発生が想定される内容です。

※1 失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するもの。
※2 治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電など。※3 家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害。

本体・マグネットクリップの取り扱い

⚠ 警告

- **分解・改造しないでください。**火災・感電・けがの原因になります。
- **ピンや針金などの金属物や異物を本体に入れないでください。**異常動作して、けが・感電・故障の原因になります。
- **子どもだけで使わせたり、幼児の手の届くところで使ったりしないでください。**感電・けが・やけどの原因になります。
- **電源には同梱の USB 電源アダプタを使い、定格電圧以外のものを使わないでください。**故障・火災・感電などの原因になります。
- **異常や故障のときは、すぐに電源ケーブルを抜いて使用をやめてください。**そのまま使うと、火災・感電・けがのおそれがあります。
- **ペースメーカーや植込み型除細動器などの医療機器をお使いの方は、マグネットクリップを胸部付近に着けないでください。**マグネットクリップは非常に強い磁力をもっており、医療機器の誤作動の原因になるおそれがあります。

⚠ 注意

- **お手入れにベンジンやシンナーなどの有機溶剤や洗剤を使わないでください。**変色・変形・破損の原因になります。
- **マグネットクリップを、クレジットカードや交通系 IC カードなどの磁気記録媒体に近づけないでください。**磁力で壊れるおそれがあります。
- 使用環境や使用条件によっては、本体が高温になることがあります。取り扱いにご注意ください。

内蔵リチウムイオンバッテリー

安全のために	• 火の中に投げ入れたり、加熱・焼却したりしないでください。発火・破裂の原因になります。 • 分解・改造・はんだ付けをしないでください。 • 強い衝撃を与えたり、落としたり、押しつぶしたりしないでください。破損や内部短絡のおそれがあります。 • 充電中や使用中に、異常な発熱・変形・液漏れ・異臭を感じたら、すぐに使用をやめてください。
充電	• 指定の充電器と充電方法を使ってください。 • 過充電・過放電を避けてください。長時間の放置充電は避けてください。 • 風通しのよい場所で充電してください。高温多湿・直射日光の下での充電は避けてください。 • 充電中は本製品のそばを離れないでください。充電中は録画しないでください。
保管・使用環境	• 直射日光の当たる場所や高温になる場所（車内など）で保管・使用しないでください。 • 温度 0〜30℃、湿度60% 以下の環境で保管してください。 • 長期間使わないときは、40〜60% 程度充電した状態で保管してください。
廃棄	• リチウムイオンバッテリーはリサイクルできる貴重な資源です。一般ごみとして捨てることはできません。 • 廃棄するときは、自治体の指示またはメーカーの回収方法に従ってください（再資源化または専門業者への委託が必要です）。

© amnimo Inc.

緊急時	• 漏れた液が皮膚や目に触れたときは、すぐに大量の水で洗い、医師の診察を受けてください。 • 火災のときは、二酸化炭素（CO_2）消火器または粉末消火器を使ってください。

使用環境

本製品は身に着けて使うウェアラブル端末です。次の環境でお使いください。

動作温度	-10〜40℃（充電時 0〜40℃）
保存温度	0〜30℃（長期間保存する場合は、バッテリーが完全に放電しないよう定期的に充電してください）
相対湿度	10〜90%
防塵・防水	IP20

無線通信について

- 本製品は日本国内でのみ使用できます。日本の電波法・電気通信事業法の技術基準以外の規格には対応していません。
- 本製品を分解・改造すること、機器のラベルをはがすことは、法律で罰せられることがあります。
- 航空機内や病院内など、無線機器の使用が禁止された区域では使用しないでください。
- 次の場所では電波が反射して通信できない場合があります：強い磁界・静電気・電波障害が発生するところ、金属製の壁（金属補強材が埋め込まれたコンクリートの壁を含む）の部屋、キャビネットの中など。
- 無線通信は、すべての状況で接続を保証するものではありません。緊急通信を本製品だけに頼ったり、データ接続の中断が死亡・人身傷害・物的損害・データ損失などにつながるおそれのある状況で使用したりしないでください。

■ 5GHz 帯

- W52・W53 の電波を屋外で使用することは電波法で禁じられています。また、J52 の機器とは通信できません。
- W53 では、法令により次の制限があります：チャネルごとに通信を始める前に1分間のレーダー波検出を行うため、その間は通信できません。通信中にレーダー波を検出すると自動的にチャネルを変更するため、通信が途切れることがあります。

■ 2.4GHz 帯

2.4DS4/OF4	使用周波数帯域 2.4GHz、変調方式 DS-SS 方式／OFDM 方式、想定干渉距離 40m 以下。全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避できます。

この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器、ほかの同種の無線局、工場の製造ラインなどで使われる移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、アマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。無線 LAN を使う前に、2.4GHz 帯を使うほかの無線局が近くで運用されていないことを確認してください。

■ 無線 LAN のセキュリティ

無線 LAN は電波でやりとりするため、電波の届く範囲であれば壁などを越えて通信内容が届きます。セキュリティの設定をしないで使うと、悪意のある第三者に通信内容（ID・パスワード、クレジットカード番号などの個人情報、メールの内容など）を盗み見られたり、ネットワークに不正に侵入されて情報の漏えい・なりすまし・改ざん・コンピュータウイルスによる破壊などをされたりするおそれがあります。無線 LAN の暗号化（WPA2／WPA3）など、セキュリティの設定をしてお使いください。セキュリティ対策をしないで、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

免責・適合規格

■ 免責

- 当社は、別途保証条項に定める場合を除き、本製品に関していかなる保証も行いません。
- 本製品の使用によってお客様または第三者が被った損害、当社の予測できない本製品の欠陥などのためにお客様または第三者が被った損害、およびいかなる間接的損害に対しても、当社は責任を負いかねます。

■ 適合規格（日本）

電気通信事業法 設計認証：HP250043210　／　電波法 工事設計認証：210-254825

© amnimo Inc.

20 付録

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に、次の表をご確認ください。

症状	考えられる原因	対処
電源が入らない	バッテリー切れ	充電してから電源を入れてください（p.18）。
	システムの不具合	お問い合わせ先にご連絡ください。
起動時に「初期化エラー ○秒後に再起動します」「SD カードがマウントできませんでした」と表示される	SD カードの接触不良	本体を再起動してください。改善しない場合は、背面カバーを外して SD カードが正しく入っているか確認してください（スロットカバーは開けないでください）。それでも改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。
起動時に画面が白い・黒いまま	ディスプレイの異常	本体を再起動してください。改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。
画面の操作に反応しない	指以外で触れている	指で操作してください（静電容量式の画面は、電気を通さないものでは反応しません）。
	手や画面が濡れている	水分や汗をふき取り、乾いた状態で操作してください。
起動のたびに初期設定画面が表示される	初期設定をスキップしている	「今後この画面を表示しない」にチェックを入れて［いいえ］をタップしてください（p.21）。
QR コードを読み取れない	カメラのシャッターが閉じている	スライドスイッチを上げてシャッターを開けてください。
通信できない（W-LAN・LTE が表示されない）	無線 LAN に接続できていない	無線 LAN の設定（SSID・パスワード）と電波の状態を確認してください。
	モバイル回線に接続できていない	SIM カードが入っているか、APN を設定したか、通信量が残っているかを確認してください。APN を設定したあとは、本体を再起動してください。
	録画中で、切替設定が［録画時 LTE］	APN を設定していないとオフラインになります。無線 LAN だけで使う場合は［無線 LAN 優先］にしてください（p.22）。
［録画データ送信可能］が表示されない	無線 LAN に接続していない、または送信できる録画データがない	この表示は無線 LAN 接続時だけ出ます。モバイル回線で送信するときは、右端の ◀ から［録画データ送信］をタップしてください。
録画データの送信が途中で止まった	ネットワークが不安定	もう一度送信すると、残りの録画データが送信されます。
自動アップロードが始まらない	条件を満たしていない	自動アップロードが ON か、無線 LAN に接続して充電しているか、ホーム画面を表示しているかを確認してください（p.13）。
いつの間にか電源が切れている	自動電源 OFF、または送信完了後の電源 OFF	自動電源 OFF の時間を確認してください（p.24）。送信後に電源を切らないときは「アップロード完了時に電源OFF」のチェックを外してください。
名前が「社員」「名前: user」と表示される	利用者が登録されていない	クラウドで利用者を登録したあと、本体をネットワークに接続してください。
名札の内容が変わらない	本体がネットワークに接続していない	本体をネットワークに接続してください。クラウドで変更した内容が反映されます。
映像がぼやける	レンズが汚れている	レンズをきれいにしてください。
クラウドでライブ再生ができない（「HLS プレイリストを読み込めませんでした」）	ネットワークが不安定	本体の通信状態（無線 LAN、SIM、通信量）を確認し、本体を再起動してください。

© amnimo Inc.

症状	考えられる原因	対処
ファームウェアの更新で「ファームウェアの整合性検証に失敗しました」と表示される	ダウンロードしたファイルの破損	ネットワークの状態を確認し、もう一度ダウンロードしてください。

お問い合わせ

本製品の操作や故障についてのお問い合わせは、次の窓口までご連絡ください。

窓口	DISアムニモコールセンター
電話	**0120-975-942**
メール	request@diswimax.jp

補足 お問い合わせの際は、型番（AB12）と、「デバイス情報」画面の内容（p.24）をお知らせいただくと、スムーズに確認できます。

© amnimo Inc.